

# アスリートアンバサダーが伝える “ナショナルゲーム”

～スペシャルオリンピックス2024長野（フロア競技）  
大会レポート！～



浅野 なつみさん

小川 真治さん

船内 達也さん

アスリート自身がスペシャルオリンピックス（SO）活動で経験したことや想いを発信し、より広く多くの方にSO活動やアスリートのことを知っていただけるよう年間を通じて様々な活動を行っているアスリートアンバサダー。そのアスリートアンバサダー第3期の浅野なつみさん、船内達也さんが、2023年11月18日（土）～19日（日）に開催しました「スペシャルオリンピックス2024長野（フロア競技）」の大会会場に足を運び、大会取材をおこないました。SOアスリートやパートナー、ボランティアの方々、そしてSONドリームサポーターの阿部雅司さん、小塚崇彦さんなど、大会に関わるさまざまな人にインタビューを行い、アスリートの目線で大会の魅力や参加する方々の声を取材しました。また、同じくアスリートアンバサダー第3期の小川真治さんは本大会にフロアホッケー アスリートとして参加。選手団の一員として参加したナショナルゲームで感じたことを伝えます。

# アスリートアンバサダーが伝える“ナショナルゲーム”

～スペシャルオリンピックス2024長野（フロア競技）大会レポート！～

## ■アスリート（フロアボール競技）

SON・山口の木村拓馬さんと、第2期アスリートアンバサダーでもある伊藤有希さん、また、SON・埼玉の秋本有輝さん(個人技能競技出場)と、橋本雄次郎さんにインタビュー！

【フロアボールの試合をやってどんなところが楽しかったですか？】

伊藤さん：

ファミリーとコーチの応援の声を聞いて、絶対にゴールを決めたいという気持ちになりました。

木村さん：

フロアボールをやってよかったのは、健常者のかたと交流も深めたいし、自分にとって良い刺激になったと思います。

【大会への意気込みを教えてください。】

伊藤さん：

最初（これまでの試合）は2敗0勝という結果になってしまったんですけど、これから大会（この後の決勝の試合など）に向けて、まだまだ練習が必要なんだなと思ったりもしていますし、コーチとファミリーの応援もあったりするので、そこからは絶対に勝ちたい、負けたくないという気持ちがあります。みんなで一丸となってやって、決勝ですばい1勝したいです。

木村さん：

私はチームキャプテンとして、みんなと一生懸命頑張れるように、仲間たちをフォローしながら頑張っていきます。なんとか一勝をとれるように頑張ります。応援よろしくお願いします。

【大会での目標はなんですか？】

秋本さん：大会で金メダルを取ることが目標です。全国制覇を目指します！

橋本さん：目標は金メダルを取りたいです。



【↑橋本さん ↑秋本さん】



【↑木村さん ↑伊藤さん】



伊藤さん



木村さん



秋本さん



橋本さん



# アスリートアンバサダーが伝える“ナショナルゲーム”

～スペシャルオリンピックス2024長野（フロア競技）大会レポート！～

## ■ パートナー（フロアボール競技）

SON・山口の3人のパートナーのかたにインタビュー！

### 【ナショナルゲームでのアスリートの様子はいつもと違いますか？】

このような大きい会場にくるという緊張感もありますし、いろんな人に応援してもらえるという勇気ももらえますし、試合をむかえるというみんなのパワーが本番に集まっている感じがあります。

### 【大会での目標はなんですか？】

まずは1勝できたらいいなというのと、アスリートとパートナー、みんなが仲良く楽しく、笑って帰れたらいいなと思います。



【↑SON・山口 パートナーの3人】

### 【ユニファイドスポーツ®の魅力はなんだと思いますか？】

アスリートの苦手な部分であったり、パートナーの苦手な部分をお互いにフォローし合いながら、またパートナーもアスリートの皆さんが一生懸命盛り上がりできるように、チームがひとつになってできるのがユニファイドスポーツ®の魅力だと思います。



## ■ コーチ（フロアボール競技） SON・埼玉のコーチにインタビュー！

### 【フロアボール競技の魅力はなんだと思いますか？】

フロアボール競技の魅力は、アスリートとパートナーが協力してゴールを目指すところです。少しボールのスピードが速いので、そこも魅力です。



# アスリートアンバサダーが伝える“ナショナルゲーム”

～スペシャルオリンピックス2024長野（フロア競技）大会レポート！～

## ■ ボランティア

SONのパートナー企業であるソニー生命保険株式会社様よりボランティアにご参加いただいた3名の方々にインタビュー！



### 【ボランティアでどんなことをされましたか？】

ボランティアで、DALをやりました。チーム（選手団）に付き添っているいろんなお手伝いをする係です。

### 【今回どんな思いでボランティアに参加されましたか？】

今回初めてボランティアに参加させていただいたんですけど、ソニー生命という会社で、このスペシャルオリンピックスの活動に関わっている先輩方がたくさんいらっしゃって、今回その先輩方に誘われて、アスリートの皆さんのご活躍の勇姿を拝見できるとあって、私もぜひお手伝いしたいと思って参加しました。

### 【スペシャルオリンピックスの競技を観戦されてどうでしたか？】

フロアボールのSON・埼玉の選手団をお手伝いしているんですが、初めてフロアボールを見て、とても激しくて見ていてもとても楽しい競技だなと思いました。先ほどの試合で、SON・埼玉のチームが1勝したんですけど、アスリートが雄叫びをあげて喜ぶ、そこでボランティアの私たちも一緒に喜べるということがあり、とても楽しめております。

## ■ 応援のかた

大阪から応援に来られた観客のかたにインタビュー！

### 【競技を観戦してどうでしたか？】

めちゃくちゃ盛り上がりました。たくさん盛り上がり、すごく楽しかったです。どのチームも勝ってほしい気持ちになりました。最後に、お互いにチームで挨拶をするのが素敵だと思いました。





# アスリートアンバサダーが伝える“ナショナルゲーム”

～スペシャルオリンピックス2024長野（フロア競技）大会レポート！～

## ■SONアスリートアンバサダー（フロアホッケー競技）

SON・広島 フロアホッケー競技にアスリートとして参加した、第2期アスリートアンバサダー 洲崎雅裕さんと、第3期アスリートアンバサダー 小川真治さんにインタビュー！

今年2023年4月より第3期アスリートアンバサダーが始動し毎月オンラインを中心とした活動を行ってききましたが、今回初めてこのナショナルゲームの場でリアルで対面し交流することができました。

【競技を終えての感想を教えてください。】

洲崎さん：

全力を出し切ることができて、あとは結果を待つのみなので、今達成感のなかにいます。

小川さん：

最高のチームと最高のメンバーで全力を発揮できたことはとても良かったと思います。

【練習してきた力は発揮できましたか？】

洲崎さん：

練習は3～4か月くらいで、回数もそんなにできていなかったんですけど、練習時間も短かったんですけど、この大会の予行練習としての大会があったんですが、そこでみんなで話し合っ、そして今回の大会に臨んだので、試合を追うごとに調子を上げてきていて、すごくいいチームに仕上がりがながら本番に臨めたと思います。

小川さん：

広島のチームのメンバーがひとつひとつ得意なこととか苦手なことを研究してって、次からはここを鍛えようとか、ここを意識してやろうとか、そういう感じで練習してって、大会でやっと実ったというところです。またチームの課題であった「シュートを決めること」が、やっと試合で開花したので、練習があつての成果を発揮することはできたと思うし、自分の中でいい経験になりました。

【今回のナショナルゲームに参加しての感想を教えてください。】

洲崎さん：

長野にくることも初めてだったので、どんな旅になるかちょっと不安もあったんですけど、アスリートやファミリー、コーチたちと善光寺など観光もしてコミュニケーションとりながら距離も縮めることもできて、すごくいい時間でした。

大会では、みんなが怪我をしないように気を遣ってくれたり、道具や持ち物などもチェックしながら大会に臨めるようにサポートしてくれて、アスリートたちも練習の成果も存分に出すことができたし、すごく最高のチームに仕上がったかたちで終わることができたので、このフロアホッケーのチームに参加できて本当に良かったです。

小川さん：

自分も同じく長野に来るのは初めてでして、ここ長野で自分の憧れの武将の真田幸村の地に行けたし、善光寺も行けた、そして何といっても全国から集まってきたアスリートたちと交流もできたり、絆を深めたり、お互いいい試合もできたことが、とても心のなかに残っています。



洲崎さん(水色ユニフォーム)



小川さん(水色ユニフォーム)



【↑洲崎さん】

# アスリートアンバサダーが伝える“ナショナルゲーム”

～スペシャルオリンピックス2024長野（フロア競技）大会レポート！～

SONドリームサポーターであり大会副会長の阿部雅司さん、また同じくSONドリームサポーターの小塚崇彦さんにインタビュー！

ナショナルゲームでのアスリートの様子や実際にエキシビションとして競技を体験してみでの感想、またお二方が感じるスペシャルオリンピックスの魅力についても取材しました。

## ■SONドリームサポーター 阿部 雅司 さん

### 【アスリートたちのプレーをみてどうでしたか？】

みんなすごく真剣に頑張っていて、笑顔があったり、悔しさもあったり、すごく競技を楽しんでいるというのが伝わってきました。

### 【個人技能競技をやってみてどうでしたか？】

もうちょっと簡単にシュートをいれられると思ったんですが、思ったところにいかなくて。思ったよりすごく難しかったです。

### 【どんな大会になればいいと思いますか？】

アスリートもファミリーもコーチも、それぞれ思い出に残るような、いい思い出になるような大会にしてほしいと思います。何年たっても「あの大会よかったね」といえるような大会にしてほしいと思います。

### 【スペシャルオリンピックスの魅力はなんだと思いますか？】

勝ち負けよりもみんなが一生懸命プレーする姿が周りで見ている人たちも感動させると改めて思いました。これからもみんな頑張してほしいと思います。



【↑小塚さん】

【↑阿部さん】

## ■SONドリームサポーター 小塚 崇彦 さん

### 【アスリートたちのプレーをみてどうでしたか？】

試合展開が一方的になってしまっている場面もありましたが、それでも最後まで走って、頑張っている姿もたくさんみられました。やっぱりスポーツってそういうふうに、最後まで諦めないでやること、それをアスリート皆さんそれぞれもっていることはすごくいいことだなと改めて思いました。

### 【個人技能競技をやってみてどうでしたか？】

2016年のオーストリア世界大会でフロアホッケーの練習をしたことがあって感覚はもっていたんですけど、でも今日やってみて時間制限とかもあって、意外とできなくて悔しかったです。できるかな～と思ってたんですけど(笑)。

### 【どんな大会になればいいと思いますか？】

やっぱりアスリートとして、負けたくない、勝ちたいという気持ちがみなさんどこにあると思います。勝って、世界大会にいきたいという気持ちをもっているアスリートたちもたくさんいると思うので、自分の気持ちに正直に競技して、またその後それがゴールじゃなくて、その次へのスタートになってくれれば嬉しいと思います。

### 【スペシャルオリンピックスの魅力はなんだと思いますか？】

スペシャルオリンピックスのよさっていうと、どんな人でもスポーツに参加できる場所がいいと思っていて、参加をするっていうのは実際に競技をしている人だけではなくて、実際に応援している人たちも一緒に参加している、会場が一体になれる、そんな雰囲気が、スペシャルオリンピックス、またナショナルゲームのいいところだなと思いました。



【↑フロアボール、フロアホッケーの個人技能競技体験の様子】



# アスリートアンバサダーが伝える“ナショナルゲーム”

～スペシャルオリンピックス2024長野（フロア競技）大会レポート！～

## ■大会取材をとおして ～船内さん・浅野さん 感想～

### 【船内さん】

開会セレモニーでは、司会のやまださんと、ドリームサポーターの小塚さんのエールで場を盛り上げてくれていました。そのエールに、アスリートたちも元気に答えていたのが印象的でした。会場は昔長野オリンピックがあった場所で、会場内は少し寒くて、やっぱり長野だと思いました。

今回はじめてフロア競技を観戦しました。フロアボールはキーパーのみヘルメットをしています。ボールは白の丸いプラスチックです。フロアホッケーは全員ヘルメットでボールは円盤型です。フロアホッケーはすごいスピード感があります。ユニフォームはみんな個性的でした。

大会取材では、他の地区のアスリートとたくさんお話できて楽しかったです。緊張するところもあって、まだまだ話が耳まで届いていなかった（コミュニケーションが難しかった）こともあったけど、ふれあいがいっぱいあって、いろんな方々に取材をして、コメントを聞いたり書いたりすることができました。大会ナビゲーターのやまだひさしさんと会場をまわって取材したことがとても印象に残っています。やまださんはカッコ良かったです！

アスリートとして選手団の一員で参加してきたナショナルゲームとはまた違い、別の競技をじっくり観戦できたり、会場の中をゆっくり見て回れたことでたくさんの経験ができました。

### 【浅野さん】

会場で初めてフロアボールやフロアホッケーが見れたのも良かったです。フロアボールもフロアホッケーも試合がとてもハードで、バスケットとはまた違うなと感じました。

大会取材では、アスリートやコーチ、ファミリーいろんな人たちと会ってインタビューして、緊張したところもあったけど、アスリートやコーチの助けももらって緊張もなくなって、しっかりお話を聞いたので良かったです。第2期アスリートアンバサダーの伊藤さんにインタビューした時に、「負けないで、ゴールをいれる」と言っていたのが印象に残りました。今回大会取材するうえで、インタビューしているYoutubeなどをみて、そういう人みたいになりたいと思いながら実際にやってみて、私にもできるんだ！と思いました。

今回大会前日の「選手団交流会」で司会もやりました。普段大阪の地区だけの大会で司会はやったことがあったけど、今回は他の地区もたくさんいる中で司会をするっていうのがなかなかない経験で自信にもつながりました。

## ■アスリートとして参加して ～小川さん 感想～

### 【小川さん】

今回浅野さんと船内さんからインタビューを受けて、インタビューする側とされる側の立場で、それぞれスムーズにいけたところもあったし、インタビューする時に、その相手の気持ちになって質問をしてれていた姿勢もすごくよかったなと思いました。自分も質問される時に、やっぱり人の気持ちとかそういうので「あ、こういうことを伝えた方がいいかな」というようなことを感じてやりたい！という気持ちに動かされたというのが印象に残っています。

今回フロアホッケーの競技でナショナルゲームに参加することは初めてで、緊張もあり不安もあったけど、それでもチームとの連携もしっかり取れたり、高めてきた練習のスキルと力を試合で発揮できたことは今でも覚えています。特に強敵だったのが東京チームと徳島チームの2チームで、最後の東京との試合は接戦で点を取ったりとられたりの繰り返しでした。そこでチームとの強い絆も深められたと思いました。

ナショナルゲームでは、他の地区のアスリートたちのことも応援し合ったりして、いろんな応援があつた大会だったなと改めて思いました。





**Special  
Olympics**  
Nippon



**Sports with all**  
NATIONAL  
WINTER GAMES 2024

Special Olympics 2024 Nagano / Special Olympics 2024 Hokkaido

Fin.

YOTA

AOI Pro.

生命



Lions Clubs  
International



Coca-Cola

井住友海上

ANYTIME  
FITNESS

et.jp  
group



Special Olympics  
Nippon